

「感染しない」「感染させない」を合言葉に

有田史談会 月例通信

コロナに負けない！

事務局 中村貞光
090-4740-4752

坂井会長からメッセージ♪

■ 有田史談会の皆様、寒い日が続いていますがお元気ですか？ 寒い日は暖かい雑炊を食べてコロナやインフルエンザを蹴っ飛ばしましょう。

1月16日は好天に恵まれ、前田さんの案内で「有田八十八ヵ所札所巡り」がありました。毎回、札所や遺跡などの説明があり楽しく参加しています。

昨年末から急に足腰が弱り、特に下り坂は転倒の心配がありましたが、札所巡りの効か神？の御利益と皆さんからのパワーを頂き、少しずつ体力に自信がついてきました。このところ夫婦で歩くようになったことが何より良い結果に繋がっているのだと思います。

さて、3月は大串さんの案内で波佐見古窯巡りも計画されています。世界一長い中尾上登窯跡（国史跡）との再会を楽しみにしております。また、4月以降は大橋先生の講座開催も実現しそうなので、開催を心待ちにしています。

早々に中村事務局長から連絡があり、「会報」が出来上がったとのこと。皆さんの投稿を見るのが楽しみです。

今年はいざなぎ年、飛躍の一年になるよう共に努力しましょう。

坂井勝也

事務局から

■ 史談会通信も No.34 になりました。3月で36回の発行になり、コロナ禍の影響で丸3年が経過することになります。長かったな～が正直な気持ちです。

毎月の通信の作成では、単調にならないように心掛けるものの、活動が中断する中での紙面作りは、A4版の紙面をただ埋めるだけの作業ではないので、苦心しながらの作業になります。坂井会長のメッセージを冒頭に入れ、残った空白部分にどんな記事を取り込むか頭を悩ませながら数日間も前に進まないことも度々でした。

新年度の4月からは、以前のような例会が開催できるか未定です。国はこの春からコロナの扱いをインフルエンザ並に位置づけようとしています。コロナの扱いが5類に転じたとしても、コロナが弱くなるわけでも収束するわけでもありません。慎重に成り行きを見守りながら進めたいと思います。

有田八十八ヵ所札所巡り

■ 1月16日、44番から52番札所まで見学しました。



今回は11名が参加し賑やかな見学になりました。



51番札所は有田焼の陶板が掲げてありました♪



参加者は前田さんの説明を熱心に聞いています。

■ 次回は53番札所からスタートします

【実施日時】2月13日（月）13:00～15:00

【集合場所】有田町役場の駐車場（西有田）

マスク、飲み物など各自持参の上ご参加下さい。

※88番札所の宝光院まで残り36ヵ所です。